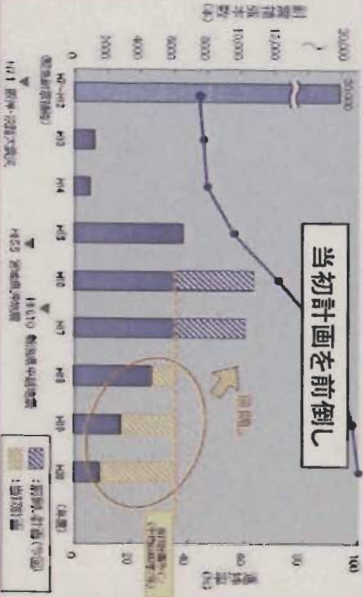
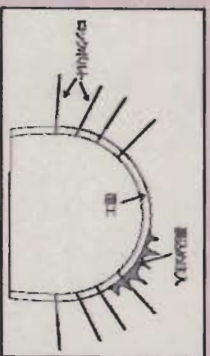


地震時における新幹線の安全対策

【構造物の耐震対策】

- 山岳トンネル (19年度完了)
- 高架橋 (19年度末概ね完了)



【早期地震検知システムの充実等】

- 初期微動P波を検知し警報発信までの時間を約3秒→約2秒に短縮 (18年度完了)
- 地震計を132箇所→188箇所へ増設 (18年度完了)
- 車両に新たに停電検知装置を設置し非常ブレーキの動作する時間を約1秒短縮 (20年度完了予定)
- 車両のブレーキ力を増大することにより、非常ブレーキ距離の短縮 (実施中)

【逸脱防止対策】

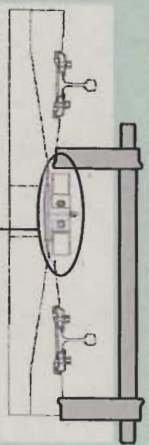
- L型車両ガイド (20年8月設置完了)
- レール継目部の強化 (実施中)
- レール転倒防止装置 (スラブ軌道用(直結8型)開発完了)



レール転倒防止装置

L型車両ガイド

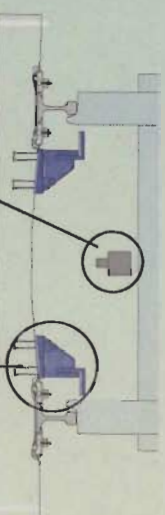
○逸脱防止ガード(試験中)



逸脱防止ガード

【脱線・逸脱防止対策】

- 脱線防止ガード(試験中)
- 逸脱防止ストツバ(試験中)



逸脱防止ストツバ

脱線防止ガード